

令和7年度第2回日進市総合戦略推進委員会 議事要旨

日 時 令和8年3月5日(木) 午前10時から午前11時7分まで  
 場 所 日進市役所南庁舎2階 第5会議室  
 出 席 者 鵜飼宏成、亀倉正彦、高木伸治、志水佳三、柴田幸美智、下田英明、三隅晋吾、山口瑠美子(敬称略)  
 欠 席 者 久田孝志、小金澤衣里(敬称略)  
 事 務 局 鬼頭聡(総合政策部長)、柏木晶(企画政策課長)、白木誠(同課主幹)、味岡正樹(同課主任主査)、窪田健一(同課主査)、長草梨香(同課主事)  
 傍聴の可否 可  
 傍聴の有無 無  
 次 第 1 開会  
 2 総合政策部長挨拶  
 3 報告事項  
 (1) 地域再生計画の進捗について  
 (2) 企業版ふるさと納税等の取組について  
 4 閉会  
 配付資料 資料1 地域再生計画の進捗について  
 資料2 地域再生計画  
 資料3 企業版ふるさと納税等の取組について

	1 開会
	2 総合政策部長挨拶
	3 報告事項
委 員 長	地域再生計画の進捗について、説明をお願いします。
事 務 局	(資料1、2に基づき説明)
委 員 長	ご質問、ご提案、ご意見などはありませんか。
委 員	<p>防災の今後の取組について意見です。市内小中学校体育館の冷暖房を完備することはとても大きなことですね。ただ、市民は体育館が避難所であるというイメージがあまり湧いていないと思います。</p> <p>そこで、体育館が避難所になるということ、冷暖房完備を進めていることについて伝え方を工夫して発信していけると、市民に「ちゃんとやってくれている」と受け止めていただけるのではないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>ご指摘のとおり、情報発信は課題だと感じております。</p> <p>パーテーションや簡易トイレは、災害になったときに初めて利用するため、普段の生活で市民の皆様が実感する機会が少ないのかもしれませんが、体育館も、例えば卒業式などで利用する親御さんであれば感じることもあるかもしれませんが、そうでない方は感じる機会が少ないかと思います。</p> <p>情報発信の面では、今後 SNS やホームページの活用、広報の見やすさの改</p>

	善なども進めておりますので、担当部署にも伝え、改善を図っていきます。
委 員	<p>昨年8月に道の駅がオープンしましたが、本市の道の駅が地域の活性化拠点というだけでなく、防災拠点にもなっていることをもう少しPRできるとよいと思います。</p> <p>予算の都合もあると思いますが、道の駅で防災訓練を行うことで、普通の道の駅にプラスアルファの側面を持った道の駅であるという市民への意識づけに繋がると思うので、ご検討いただけたらと思います。</p>
委 員	防災対策の満足度が3割弱という中身について、若年層がどうなのか、高齢者がどうなのかなど、構成別の把握は可能なのでしょうか。
事 務 局	年齢別などで、災害対策に対する満足度の数値を出すことは可能です。
委 員	<p>年代によって満足していない要因が違うはずなので、若者が満足していないのであれば若者層へのアプローチ、高齢者が満足していないのであれば高齢者層へのアプローチが必要かと思います。</p> <p>資料に「若者が啓発イベントに参加していないのが課題」と書いてありますが、本当にそうなのかなと思ったので意見させていただきました。</p>
委 員 長	年代別に意識差がある可能性もありますし、行動変容につながる理解のされ方もあるというご指摘だと思います。ぜひ先に進める際に気をつけていただければと思います。
委 員	<p>目標数値が達成している部分について、達成したら新たな取組をしないのか。それとも、達成した上でさらに伸ばしていく取組をされるのでしょうか。</p> <p>また、防災については年1回の一斉訓練が住民への意識づけの大きなポイントなのかなと思います。そこにうまく活用できる施策があるのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>数値が達成しているから、これ以上の施策はしないというわけではございません。総合計画、総合戦略に基づき、各事業をそれぞれの担当部署で行動計画をつくり、最終年度まで市民の皆様の利便性や快適性、満足度を高める取組を着実に進めてまいります。ただ、目標値に対して大きく乖離しているものは既存の計画だけでは達成が難しい見込みがあるため、さらに力を入れて取り組む必要があると考えています。</p> <p>また、一斉防災訓練は、事前に各自治会に訓練概要を説明し、市職員は原則全員参加で、地域の防災推進委員のご協力をいただきながら実際に避難所となる学校で避難所開設運営訓練を行いました。市民の方には、地震が起きた想定で避難所に参集してくださいという連絡を行い、実際に避難所がどのように開設されるかを見ていただくという取組でした。来年度も実施予定です。</p>
事 務 局	<p>毎年場所を変えて地域ごとに避難所開設運営訓練を行っていました。その中で、実際に災害が起こった時に、市内全体として本当に動けるのかという課題が出てきました。</p> <p>今回、市内全域で課題出しも含めて防災訓練を実施してみると、物がない、あるはずの台帳と全然違っている、などの課題も出ました。訓練が11月で、</p>

	<p>予算編成の時期も迫っていましたので、必要なものは予算化し、令和8年度の議会に予算計上しております。地域の方、行政内部、消防の担当などから意見をいただき、ブラッシュアップして来年度も市内一斉防災訓練を実施していきたいと思っています。</p> <p>また、道の駅でも前日にイベントを開催していますので、数値については、2024年度の古い数字であることを踏まえると、現状は少し変わってくるかもしれないと思っています。</p> <p>さらに、物価高騰対策として、日進市ではLINEで本人確認を行い、クーポンのような形で支給する施策を来年度実施予定です。</p> <p>これによりLINE登録者が増える見込みで、デジタル市役所の取組や、消防団等のPRも含めて、LINE上で発信していきたいと考えています。</p> <p>登録者が増えれば、現在郵送で3,000件ほど実施している市民意識調査に加え、LINEを使ってリアルタイムのアンケートができないかという検討も進めています。市民意識調査は企画政策課が所管していましたが、令和8年度から情報広報課に移し、試行しながら、将来的にはLINEで各種意識調査をしていきたいと考えています。そうすると、よりリアルタイムに議論の資料として活用できると考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>先ほどのご質問の1点目は、基本目標3に対するご指摘ですね。実数の部分で、売上や出荷額が増えているかといった結果について、どういう工夫の中で伸びたのか、あるいは市場が大きくなったから従来のやり方でも自動的に伸びたのかといった分析を踏まえて対策を具体化した方がよいというご指摘だったのではないかと受け止めました。</p> <p>また、災害対策については正解がないと思っていますが、努力している成果を理解していただくための発信には工夫が必要だと感じました。</p> <p>それ以外に、例えば高知県立大学では津波被害が多いので様々な対策を行っています。トイレについては、仮設トイレだけではカバーできないので、普段のトイレをどう使っていくかという工夫までマニュアル化し、授業や普段の生活の中で周知していくという取組があると聞きます。</p> <p>こうした災害対策先進県の事例を参考にしていただけるとよいと思います。これは、初期投資が不要であり、今あるものをどう活用していくかが重要になってくる話なので、工夫の余地は十分にあるはずです。</p> <p>また、協定を結んでいる市町が災害に遭ったときに、日進市がどう支援するかを考える必要もあると思います。人の受け入れが必要になる可能性もあります。その場合の居住地としての住宅用地の確保なども含め、災害対策をトータルで見て情報発信していくことが望ましいように思います。</p> <p>さらに、住民に対する災害対策だけでなく、企業のBCPに着目すると、中小企業のBCPは現状未着手の部分が多いため、その点に検討の意識を持っていてもよいかもしれません。地元で住んで働いている方が多い地域では、結果</p>

	的に災害対策の理解が深まることにもつながると思います。
委員長	2つ目の報告事項、企業版ふるさと納税等の取組について、説明をお願いします。
事務局	(資料3に基づき、事務局から説明)
委員長	三菱UFJ銀行の下田様から、何か補足事項はありますか。
委員	<p>企業が寄附をする動機として、単に行政課題に寄附するというだけでは、飛躍的に金額が伸びない場合もあると認識しております。</p> <p>私どもが提供しているソリューションの一例ですが、行政課題を解決できる技術を持ったスタートアップ企業と自治体が、社会課題の解決に取り組むことで、その技術が世の中に広がり、スタートアップの成長にもつながるといふ、いわゆる成長投資としてご賛同いただける企業に投資をいただくという考え方です。そのようなストーリーが一つの成功事例になるのではないかとこの思いで取り組んでおります。</p>
委員長	それでは、ただいまの説明についてご意見、ご質問をお願いします。
委員	<p>企業版ふるさと納税については、評価軸をどのように決めているのかという点が気になります。</p> <p>例えば、ある条件が満たされていれば「健全」、あるいは「要注意」「危険」といったように判断する基準のようなものを設けていらっしゃるのか伺いたいです。</p>
委員長	単に増えているだけでよいのか、また、どういう視点で資金が獲得できている要因分析をするのかといった趣旨のご質問だと受け止めました。
事務局	<p>数値目標に対する達成率、また、要因分析については評価できていないのが現状です。</p> <p>これまで本委員会でもご議論いただいておりますが、目標には主観的なものと数値的なものがそれぞれ含まれておりますが、主観的なものだけでは KPI としては不十分であり、総合戦略および地域再生計画における KPI については、改善の余地があると考えています。</p> <p>次回、2030 年度以降の計画策定に際しては、主観的な指標に加え、例えば「1人当たりの〇〇のカバー率が何%以上」といった、客観的な数値として評価できる目標設定についても検討していきたいと考えております。</p>
委員	<p>全国の自治体で分散状況を把握されるのもよいと思います。例えば中央値がどの程度か。例えば横浜市や大阪市のように数十億円という規模の自治体もある一方で、大多数の自治体はそこまでの数値に至っていません。そうした状況も確認しつつ、評価の視点を持てるとよいと考えます。</p> <p>また、パイプライン管理と言ってよいかと思いますが、見込み案件から始まり、提案、合意、寄附、事後報告に至る一連の管理プロセスを適正化し、しっかり組み立てることで、総合的に健全に前へ進められるのではないかと感じましたので、補足いたします。</p>

委員 長	<p>次の見直しに向けて検討する視点が色々あるというご指摘であったと思います。これまでのように目標を立てて、いくら集まったかという数値の結果だけでなく、フォローや原因の追究ができるような評価の在り方も、あわせて組み込んでほしいというご希望だと受け止めました。</p>
委 員	<p>ふるさと納税に関して、日進市は恐らく苦戦されると思います。その中で企業版ふるさと納税については部長さんたちが一生懸命動かれているというお話でしたので、これだけ納税が増えたのかなとも思っています。</p> <p>ただ、納税いただいたものを市民へどう還元していただけるかという点が市民としては気になるところです。市民が満足することで好循環が生まれるのではないのでしょうか。</p> <p>例えば、私はフィットネスに行っているのですが、そこには80歳くらいでもお元気な方が多くて、「かかりつけ医がない」とおっしゃる方もいます。高齢化が悪いイメージではなく、健康寿命の長い高齢者が多い日進市というのは、すごく魅力があると思うんです。今の若い方も、こういうまちだったらずっと住んでみたいと絶対思うはずですし、そういう好循環が生まれるような取組に活用していただけると、さらに住みたいまちになっていくと思います。街の魅力が高まると、お金も集まってくるという循環になっていくのではないかと思います。</p>
委員 長	<p>市民目線の視点も重要だと思います。先ほどは、お金を集めてくる部分の考え方のお話がありましたが、集まっただけではなく、どういう効果があったのかという点の一つとして、市民の満足度もあると思いますので、総合的な視点で評価していくモデルを検討した方がよいのではないかと感じました。</p>
事 務 局	<p>今後の考え方として、日進市ふるさと創生ビューローと、大学に拠点を作るという話は、実は連動しています。</p> <p>茨城県の境町は、ふるさと納税で100億円を稼いでいると聞いております。そこまで実績を伸ばしたまちづくり公社へ勉強に伺わせていただいているところです。委員からご指摘のとおり、ノウハウがないと日進市は苦戦することもあるかと思いますが、境町は何もないまちと言われながらも、さまざまな手法を駆使して成果を上げています。</p> <p>そのノウハウを学びつつ、商品開発や、企業版ふるさと納税の営業なども行い、集めた財源を市民に還元していく仕組みを検討しています。</p> <p>また、三菱UFJ銀行様の主催で11月にピッチを行った際には、部長たちが、自分の担当以外の分野も含めて複数テーマでピッチを行いました。</p> <p>例えば、スポーツセンターをよりよくしていきたい、部活動支援の地域移行を進めたいが財源や人材が不足しているといった課題に対して、企業の知恵や財源をどう結びつけるかという視点で提案しています。企業版ふるさと納税の企業訪問の中では、企業の社長様から、将来の若い方の雇用につながるPRができるなら財源を出せるなどというヒントをいただくこともあります。ま</p>

	<p>た、大手企業の場合は、脱炭素など、より大きな社会課題と結びつけて「なぜ日進市に寄附をするのか」という理由が必要になることもあり、そうした点も学びながら進めています。</p> <p>委員のお話のとおり、スキームの中で何ができたのか、市民にどう還元されるのかが伝わらないといけませんので、部長たちが訪問した企業や、提案した事業、資金調達できた内容、還元の内容などを、PR という意味も含めて見える化していきたいと考えています。</p> <p>さらに、大学に拠点を作り、企業と大学等でコンソーシアムを作ることも検討しています。近隣のさまざまな大学にも入っていただき、観光や健康などテーマごとにピッチのような形でトライアルし、資金やアドバイスを得ながら進めていきたいと考えております。</p> <p>成果についても、市としてきちんと見える化しないと議論にもならず、せっかく実施しても市民の皆様にお伝えできないと思いますので、今後、しっかり考えてまいりたいと思います。</p>
委員	<p>企業版ふるさと納税の金額が増えてきていることは大変頼もしいことだと感じています。市民としては、どの会社がどのぐらいの金額を企業版ふるさと納税として寄附してくれているのか、逐一知りたいと思います。本市のホームページに載っていますか。</p>
説明者	<p>企業の皆様にご同意いただいた場合には、感謝状の贈呈等の内容や、金額についても市ホームページに掲載しております。</p>
委員	<p>興味がある人だけでなく、あまり関心のない市民も簡単に見られるような工夫をしていただけるとよいと思います。</p>
委員	<p>2点ご意見申し上げます。</p> <p>1点目は、本日の議論で「稼ぐ事業」と「市民還元」を両立させていく方向性が示され、大変重要な視点だと感じました。一方で全国的にはふるさと納税を巡る自治体間競争が激しくなっており過剰競争や制度趣旨からの逸脱が問題となるケースも見られます。今後、営業型自治体として取組を進めていく中では、こうしたリスク管理の視点も併せて整理することが重要ではないかと思われました。</p> <p>2点目は、話題に出た防犯灯 DX については、単独事業に加えまして、スマートシティ、安全安心インフラ、アセットマネジメント、ゼロカーボン・省エネ、都市データ基盤といった複数分野にまたがる可能性を持つテーマであり、総合戦略の4つの基本目標を横断するプロジェクトとして整理する余地もあるのではないかと感じました。</p>
委員長	<p>議論はまだまだ続きそうですが、一旦ここで区切らせていただきます。様々なご意見をありがとうございました。次に何をチャレンジするかが見えてきたように思いますので、事務局でまとめ、さらに応用していただければと思います。</p> <p>本日の議題につきましては以上となります。進行を事務局にお返しします。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日も貴重なご意見をいただき、大変参考になりました。</p> <p>委員の皆様からいただきましたご意見等を参考にしながら、引き続き事業の推進に努めていきたいと存じます。</p> <p>今期の総合戦略推進委員会は、今回の委員会の開催をもって最後となります。委員の皆様におかれましては、議事の運営にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、令和7年度第2回日進市総合戦略推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
4 閉会	